



VI ガイドライン
Visual Identity Guidelines

2015年8月改訂版

慶應義塾のシンボルをさらにご愛用いただくために

Contents

慶應義塾は1858年の創設以来、長年にわたりわが国を先導する私学として、慶應義塾社中にとどまらず、広く日本や世界の人々に愛され、親しまれ、信頼を獲得してきました。いま慶應義塾は社会に開かれた学塾として認知され歩み続けています。一方、こうした「ブランド」を維持し、将来に向けてさらにその価値を高めていくためには、現在の評価に甘んじることなく、一層の努力や前向きな行動が必要となります。慶應義塾には視覚的に表現し伝達する「シンボル」として、「ペンマーク」「エンブレム(大学紋章)」「三色旗」の3つがあります。これらのシンボルには、慶應義塾の建学精神やこれまでの実績が自然と蓄積され、一目見ただけで私たちの価値が想起されるような強い存在感と発信力が既に備わっています。そして、これらのシンボルは、塾生、塾員、教職員をはじめとする慶應義塾に連なる人々の誇りの源泉となっています。

2008年、創立150年という節目を迎えるにあたり、これらのシンボルをさらに多くの方々にご愛用いただくために、慶應義塾の視覚表現=VI(ビジュアル・アイデンティティ)を整備し、本VIガイドラインにまとめました。

慶應義塾の価値を毀損することなく発展させていくためにも、このガイドラインに掲載されている使用方法を参照され、効果的にシンボルを活用してください。

2005年6月

慶應義塾

| | |
|----|------------------------|
| 2 | はじめに |
| 4 | 使用に際して |
| 6 | 慶應義塾 3つのシンボル |
| 7 | カラー |
| 8 | ペンマーク |
| 10 | エンブレム |
| 12 | ペンマーク・エンブレム表現方法のまとめ |
| 14 | ペンマーク・エンブレムの背景色と表示色の関係 |
| 16 | 三色旗 |
| 17 | サポートエレメント |
| 18 | ロゴタイプ |
| 20 | ペンマークとロゴタイプの組み合わせ一覧 |
| 21 | ペンマーク+和文ロゴタイプ |
| 23 | ペンマーク+欧文ロゴタイプ |
| 24 | ペンマーク+和文ロゴタイプ欧文付帯 |
| 26 | ペンマーク+和文・欧文ロゴタイプ併記 |
| 28 | 推奨書体 |
| 30 | 学部等の付帯表記 |
| 32 | 好ましくない使用例 |
| 36 | 制作用データ |

はじめに

ガイドラインの作成方針

～シンボルを活用する際のガイド役(指針)として

ベンマーク、エンブレム(大学紋章)、三色旗は、少数の有志の愛用に端を発し、時とともに慶應義塾全体に広まり、後に慶應義塾のシンボルとして公認・制定されたという背景があります。

本VIガイドラインの整備にあたり、塾生・塾員自ら主体的に新たな時代を拓いていこうとする気風を、慶應義塾のアイデンティティとして継承していきたいと考えました。したがって、本VIガイドラインは、シンボルの活用を支援・サポートするための「ガイド役(指針)」として作成しています。

本VIガイドラインは、過去にシンボルを利用してデザインされた印刷物等に影響を与えるものではありません。今後、新たにご利用する際には、ぜひ本VIガイドラインをご活用ください。

本VIガイドラインを参考に、シンボルがさらに多くの方々に愛用されることを願ってやみません。

ガイドラインの整備

～ブランドマネジメント活動の一環として

慶應義塾のブランド価値のさらなる向上を図るため、ブランドマネジメント・プロジェクトがスタートし、本VIガイドラインの整備をその第一歩と位置付けました。ガイドライン作成に際しては、マーク等の運用状況および使用意識を確認するために、各アイテムの視覚監査(使用実態調査)とアンケート調査を実施しました。

また、慶應義塾のあるべき姿を検討・確認しながら、VIの基本デザイン(基本デザイン要素+基本デザインシステム)の整備を行いました。

※ 基本デザイン要素：シンボル、ブランドカラー、サポートエレメント、ロゴタイプなどVIを構成する基本的なデザイン要素

※ 基本デザインシステム：シンボル、ブランドカラー、サポートエレメント、ロゴタイプなど、基本デザイン要素の組み合わせ方法

ガイドライン作成に伴うデザイン整備

～基本デザインシステムの4つの視点

ガイドラインの作成にあたっては、これまで使用されてきた、名刺・封筒・レターヘッド、印刷物、ウェブサイト、屋外サイン等、多様なメディアにおける運用・展開状況を、「再現性」「視認性」「持続性」「利便性」の4つの視点からそれぞれ確認し、さまざまな環境・媒体において適切なデザイン表現ができるよう、色と形の精緻化を行いました。

◎再現性：印刷物、ウェブサイト、屋外サイン等、さまざまな環境・媒体において、同品質の色、形の表現ができるかどうか。

◎視認性：名刺、封筒のような小さなスペースでも形が潰れないかどうか。また、看板サインのように大きなスペースでは、遠距離からでも、しっかりと伝達できるかどうか。

◎持続性：長きにわたり使用されるシンボルとして、時間とともに風化しないデザイン表現であるかどうか。

◎利便性：誰でもデザインの美しさを崩すことなく使用できる、扱いやすいデザイン表現であるかどうか。

ガイドラインの改定

～オリジナルロゴタイプの作成他

2015年、日本国内にとどまらず、グローバルに慶應義塾のブランド価値をさらに高めていくため、ガイドラインを一部改定しました。

◎これまで推奨書体を設けていた校名表記について、オリジナルのロゴタイプを作成しました。ロゴタイプは、慶應義塾らしさをより表現するために新たに作成されたオリジナルの書体です。今後、VIとして校名を表記する場合は、ロゴタイプをご使用ください(本文中はこの限りではありません)。

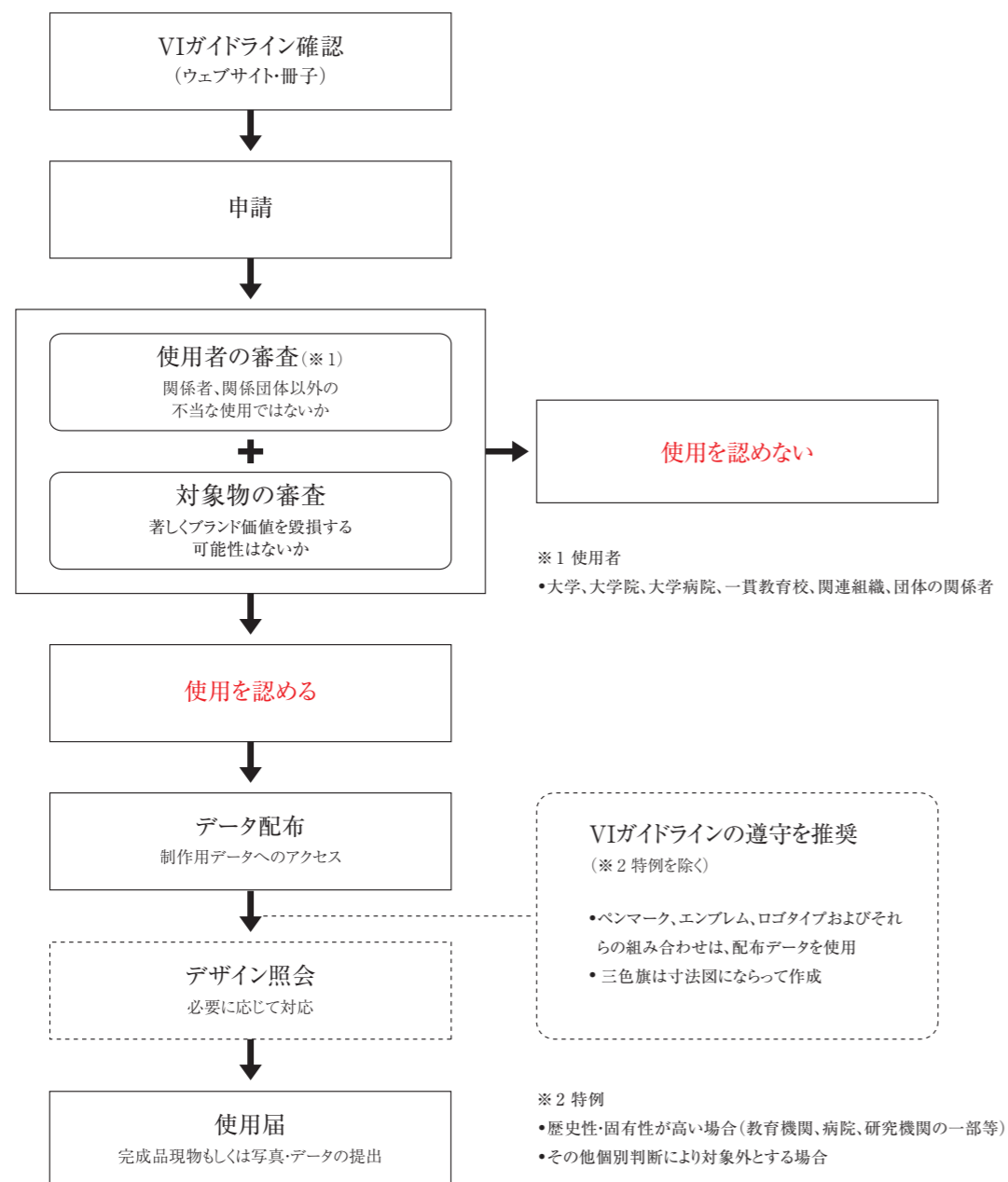
◎ロゴタイプの作成に伴い、エンブレムのデザインも更新しました。今後は新しいデータをご使用ください。

◎ブランドカラーの基準色についても、国際的に通用する特色に規定を見直しました。

使用に際して

使用の手順

ペンマークやエンブレム、ロゴタイプなどを用いて各種アイテムを制作する際には、以下の手順で行ってください。



制作用データダウンロード

制作用データは、ウェブサイトよりダウンロードすることができます。
ai形式データ、およびpng形式データがあります。

詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。

VIガイドライン ウェブサイト

http://www.keio.ac.jp/ja/about_keio/vi/viguide/line/index.html

著作権について

本VIガイドラインに記載されているペンマーク、エンブレム、三色旗の著作権は慶應義塾にあります。無断で使用することは禁じられています。使用に際しては、事前に総務部総務担当へお問い合わせください。

担当窓口

本VIガイドラインのご使用に関するお問い合わせやデザイン制作において判断の困難な場合は、下記へご連絡ください。

慶應義塾 総務部 総務担当

Tel : 03-5427-1517 / Fax : 03-3769-1564

Mail : vi-info@adst.keio.ac.jp

慶應義塾 3つのシンボル

慶應義塾のシンボルは、ペンマーク、エンブレム、三色旗の3つです。

ペンマークの由来と意味

明治18年(1885年)ごろ、塾生が教科書にあった一節「ペンは剣に勝る力あり」にヒントを得て帽章を自分たちで考案したことからはじまり、その後多数の塾生・塾員の支持を得て公式な形として認められ、今日に至っています。ペンマークは、その発祥のルーツにも見られるように、学びの尊さを表現するシンボルであり、慶應義塾を指し示すだけでなく、広く認知された社会的な存在と位置付けられます。



エンブレムの由来と意味

慶應義塾の大学紋章(コミュニケーションツールとしてより広く使用するために、今後は「エンブレム」と呼びます)は、平成元年(1989年)、オーストラリアのクィーンズランド大学からの要請をきっかけに作成されました。同校のグレートコートと呼ばれる広い中庭にある回廊の石柱に、国際的に著名な大学の紋章と並んで刻まれています。この時にデザインされた紋章の形状は、旧図書館記念室の壁面に刻まれていたものが原型といわれています。



2015年更新

三色旗の由来と意味

慶應義塾の塾旗として位置付けられています。定かではありませんが、各種の祝賀行事で用いられ始め、今日では主にスポーツ競技の場や塾生・塾員の会合の場などで用いられています。



カラー

2015年更新

ペンマーク、エンブレム、三色旗を再現する際のカラーについてご紹介します。

※ 本VIガイドラインはプロセスカラー印刷です。

慶應義塾のブランドカラー

慶應義塾には、イエロー、ブルー、レッドの3色のブランドカラーがあります。各種デザイン要素においてブランドカラーを使用する場合は、以下をご参照ください。なお、公式のブランドカラーは「基準色」ですが、特色が使えない場合やウェブサイトなどのモニター環境で再現する場合は、基準色と完全に同一色としないことに留意願います。

サブカラー ※ 以下に表示されたゴールド、シルバーは代替カラーを使用しています。

ロゴタイプはブラックで表示します。ペンマークをグレー、ゴールド、シルバーで表現する場合は、以下をご参照ください。

| | | |
|--|------|----------------|
| | 基準色 | PANTONE 7406 C |
| | CMYK | C0 M20 Y100 K0 |
| | sRGB | R241 G196 B0 |
| | HTML | #F1C400 |

| | | |
|--|------|-----------------|
| | 基準色 | PANTONE 2758 C |
| | CMYK | C100 M90 Y0 K45 |
| | sRGB | R0 G30 B98 |
| | HTML | #001E62 |

| | | |
|--|------|-----------------|
| | 基準色 | PANTONE 7626 C |
| | CMYK | C0 M100 Y90 K15 |
| | sRGB | R198 G53 B39 |
| | HTML | #C63527 |

| | | |
|--|------|---------------|
| | ブラック | |
| | CMYK | C0 M0 Y0 K100 |
| | sRGB | R0 G0 B0 |
| | HTML | #000000 |

| | | |
|--|------|----------------|
| | グレー | |
| | CMYK | C0 M0 Y0 K70 |
| | sRGB | R115 G115 B115 |
| | HTML | #737373 |

| | | |
|--|-------------|---------------|
| | ゴールド 基準色 | PANTONE 874 C |
|--|-------------|---------------|

| | | |
|--|-------------|---------------|
| | シルバー 基準色 | PANTONE 877 C |
|--|-------------|---------------|

※ CMYKのカラープロファイルは「Japan Color 2001 Coated」です。

ペンマーク

基本形



使用場面・使用方法

慶應義塾を表現する形状のルーツ的存在でもあります。さまざまなシーンで展開される公式アイテムにおいて、最も優先的に使用します。名刺などにおいて、シンボルと校名を組み合わせる場合は、ペンマークをご使用ください。

最小使用サイズ

ペンマークの最低限の視認性を確保するため、基本形の使用は最小使用サイズ(天地7mm)を守ってください。天地7mm未満で使用する場合は、次のページの縮小パターンをご使用ください。



展開形

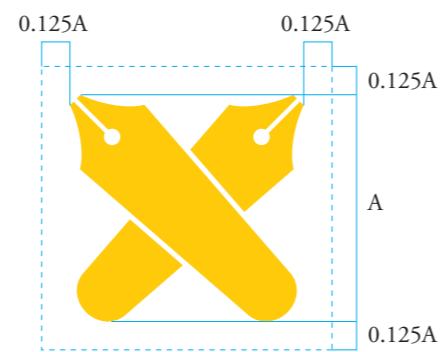
モノクロパターン

単色しか使用できない新聞広告などの印刷物でご使用ください。ペンマークをK70%で表します。



アイソレーション

アイソレーションとは、視認性やデザインの品質を保つために、ペンマーク周辺に設定する余白(不可侵領域)のことです。この範囲内に、ペンマーク以外の他の要素を表示することは避けてください。



縮小パターン

天地7mm未満での使用には、小さくした時の潰れが生じにくく、鮮明に再現できるように加工を施した縮小パターンをご使用ください。縮小パターンは以下に示したサイズの範囲内で使用してください。また、縮小パターンの拡大使用は避けてください。



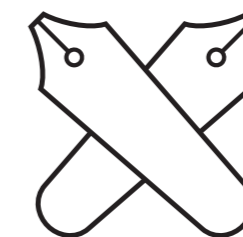
拡大図

使用推奨範囲

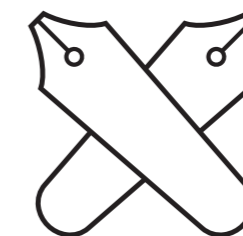


線画パターン

必要に応じて線画パターンをご使用ください。ただし、大きすぎるサイズでの表現は、ペンマークそのもののイメージを損なう恐れがあるため、以下の使用推奨範囲内で使用することを心がけてください。なお、アイソレーションは基本形と同じです。

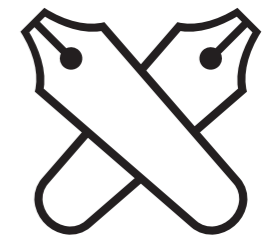


拡大図



線画縮小パターン

天地7mm未満での使用には、小さくした時の潰れが生じにくく、鮮明に再現できるように加工を施した縮小パターンをご使用ください。線画縮小パターンは以下に示したサイズの範囲内で使用してください。また、縮小パターンの拡大使用は避けてください。



エンブレム

2015年更新

「盾」と「欧文文字表記」を組み合わせたものをエンブレムと呼びます。盾と欧文文字表記を組み合わせた形でご使用ください。

基本形



使用場面・使用方法

エンブレムは、慶應義塾のブランドを表す5つの要素であるペンマークと三色旗、校名、設立年、モットー（ペンは剣に勝る力あり）を組み合わせ、複合的にデザインしています。したがって、他の要素をこれ以上組み合わせないワンポイントマークとして、パンフレットや広告、ウェブサイトなどの対外的なコミュニケーションを図る媒体にご活用ください。

※ 慶應義塾では、海外との公式なやり取りをする際などに用いるレターヘッドにこのエンブレムを使用しているため、慶應義塾関係者であってもエンブレムを付けたレターヘッドの作成はご遠慮ください。

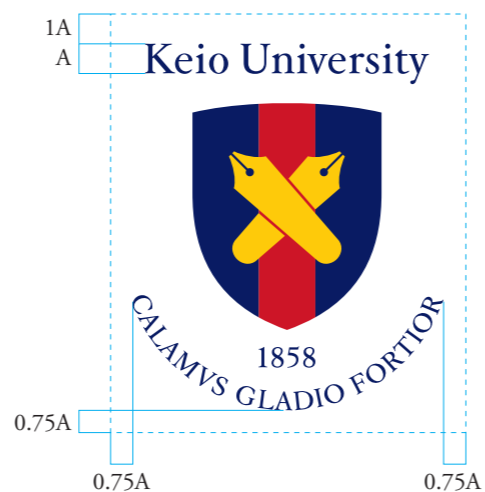
最小使用サイズ

エンブレムの最低限の視認性を確保するため、最小使用サイズ（天地23mm）を守ってください。これより小さいサイズでの使用は避けてください。



アイソレーション

アイソレーションとは、視認性やデザインの品質を保つために、エンブレム周辺に設定する余白（不可侵領域）のことです。この範囲内に、エンブレム以外の他の要素を表示することは避けてください。



展開形

サブパターン

校名、設立年、モットーの表記は、盾の上下に置くパターン以外に、右記のパターンを用意しました。アイテムや表示スペースに合わせてご使用ください。



Keio University
1858
CALAMVS
GLADIO
FORTIOR

モノクロパターン

単色しか使用できない新聞広告などの印刷物でご使用ください。ペンマークを白、盾中央部のレッドの帯をK70%とし、それ以外をK100%で表します。



Keio University
1858
CALAMVS
GLADIO
FORTIOR

線画パターン

必要に応じて線画パターンをご使用ください。ただし、大きすぎるサイズでの表現は、エンブレムそのもののイメージを損なう恐れがあるため、なるべく避けてください。



Keio University
1858
CALAMVS
GLADIO
FORTIOR

ペンマーク表現方法のまとめ

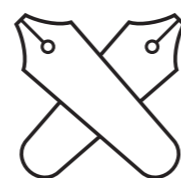
さまざまな環境下で再現できるように、以下のようなペンマークの種類を用意しました。上側は背景が明るい色の場合、下側は背景が暗い色の場合のペンマークの表現方法です。

※ なお、これは背景色を黒に想定しているわけではなく、濃い背景色の代表として例示しています。背景色については、「ペンマークの背景色と表示色の関係」のページ(p.14)を参照してください。

カラー



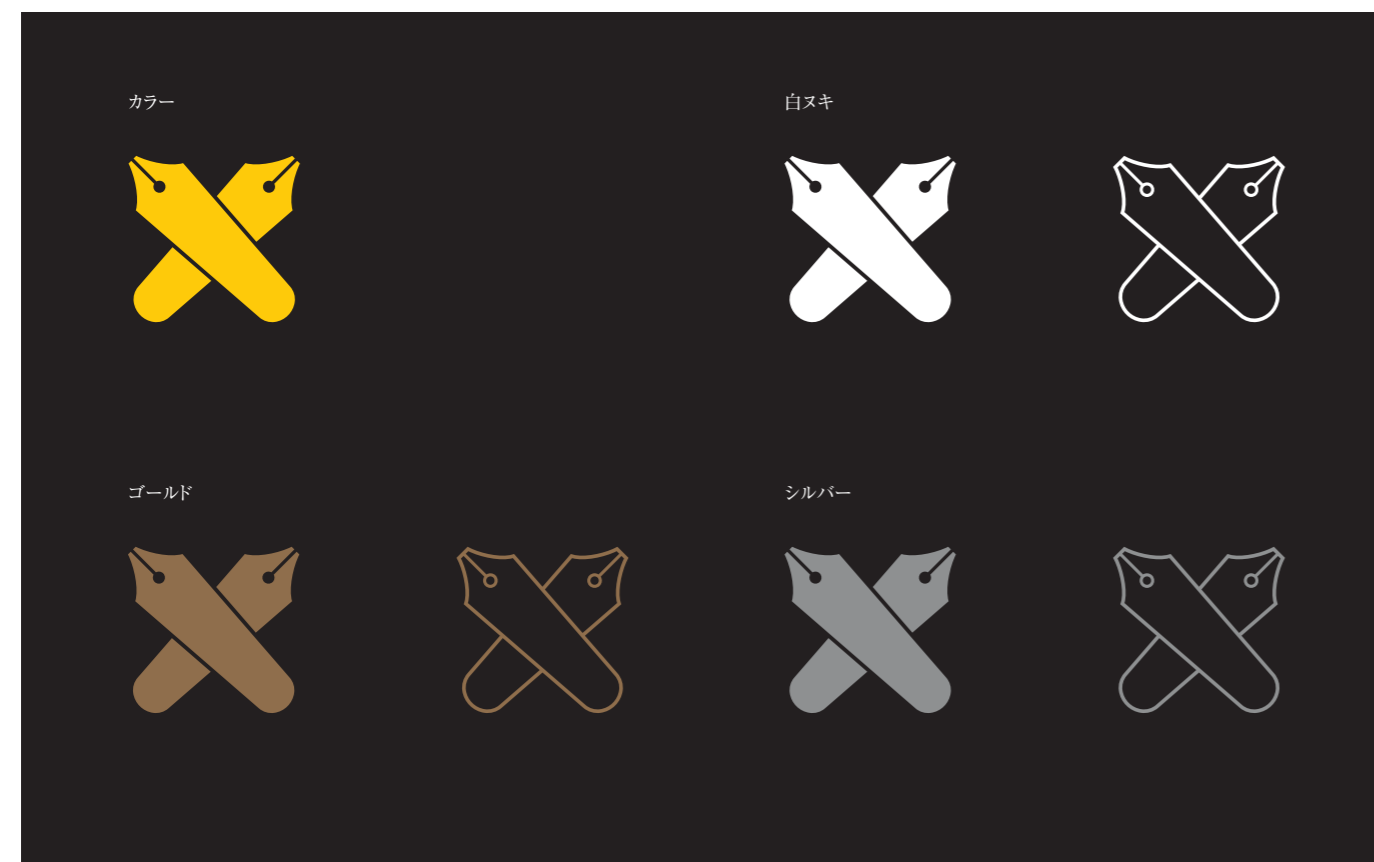
モノクロ



ゴールド



シルバー



エンブレム表現方法のまとめ

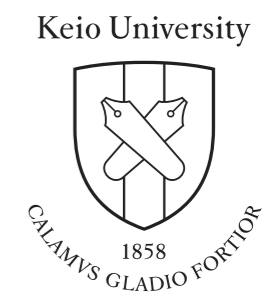
さまざまな環境下で再現できるように、以下のようなエンブレムの種類を用意しました。上側は背景が明るい色の場合、下側は背景が暗い色の場合のエンブレムの表現方法です。

※ なお、これは背景色を黒に想定しているわけではなく、濃い背景色の代表として例示しています。背景色については、「エンブレムの背景色と表示色の関係」のページ(p.15)を参照してください。

カラー



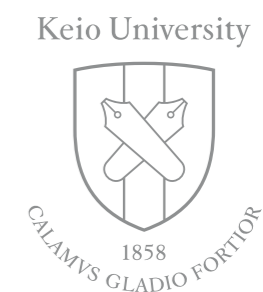
モノクロ



ゴールド



シルバー



ペンマークの背景色と表示色の関係

背景色によってペンマークの視認性が妨げられることがあります。

ペンマークの背景をカラーで表現する場合は、以下のカラースケールを参照して、視認性の良い表現を心がけてください。



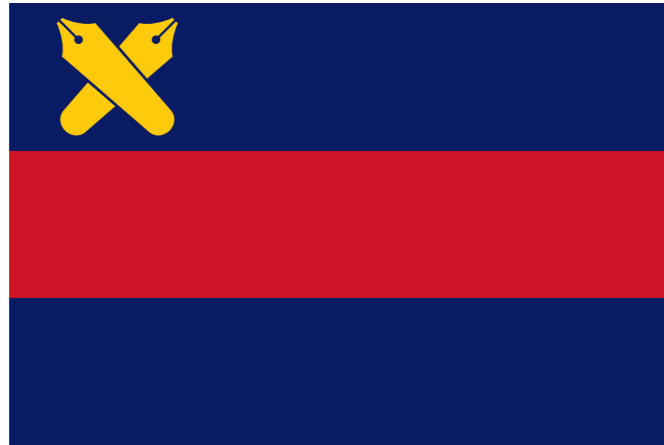
エンブレムの背景色と表示色の関係

背景色によってエンブレムの視認性が妨げられることがあります。

エンブレムの背景をカラーで表現する場合は、以下のカラースケールを参照して、視認性の良い表現を心がけてください。



三色旗

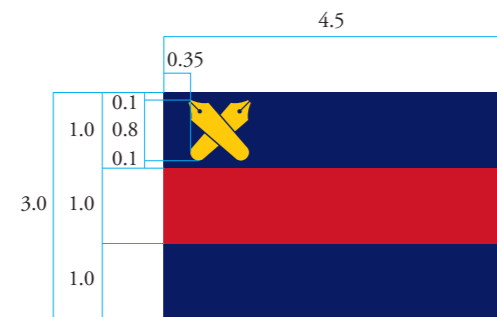


使用場面・使用方法

慶應義塾とその一貫教育校等および慶應義塾が認める団体の旗として使用します。

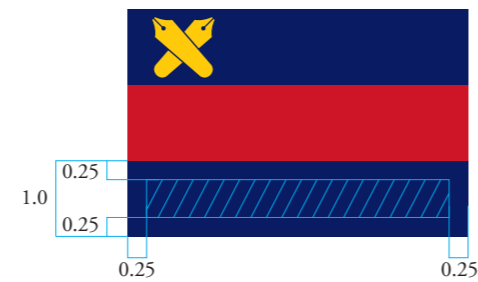
寸法図

旗の制作には、以下の寸法図を参考にしてください。



推奨文字表記

旗の中に文字を表記する際は、以下のスペース内で右詰め(右端を合わせる)にし、白文字(白ヌキ表示)にしてください。



サポートエレメント

サポートエレメントは、ブルーとレッドのラインで構成されています。さまざまなアイテムデザインの補佐的なデザインモチーフとしてご活用ください。



最小幅サイズ



ロゴタイプ

2015年更新

ロゴタイプは、慶應義塾らしさをより表現するために作成されたオリジナルの書体で構成されています。VIとして校名を表記する場合は、以下のロゴタイプをご使用ください(本文中はこの限りではありません)。

和文ロゴタイプ

和文ロゴタイプは、推奨書体である「リュウミン」と、「筑紫Aオールド明朝」のふたつの書体をベースに開発されたオリジナルの書体で構成されています。「リュウミン」の特徴である、均整のとれた端正な印象を残しながらも、「筑紫Aオールド明朝」の台形フォルムを踏襲し、やや重心を上部に設定することで、慶應義塾ののびやかな、開かれた校風を表現しています。

リュウミン

慶 應 義 塾

筑紫Aオールド明朝

慶 應 義 塾



慶 應 義 塾

慶 應 義 塾

慶 應 義 塾 大 学

慶 慶
應 應
義 義
塾 塾
大 大
学 学

Adobe Garamond

Keio University

Granjon

Keio University



Keio University

欧文ロゴタイプ

欧文ロゴタイプは、活字として最も長い歴史を持つギャラモン系書体をベースに開発しています。推奨書体である「Adobe Garamond」をベースに、ギャラモン活字の美しさを継承する「Granjon」の骨格を踏襲。空間の広さ、線の太さの調整により再現性・視認性を高め、かつ、直線の角度をペンマークの印象と揃えることで、慶應義塾らしさをより引き出しています。



Keio University

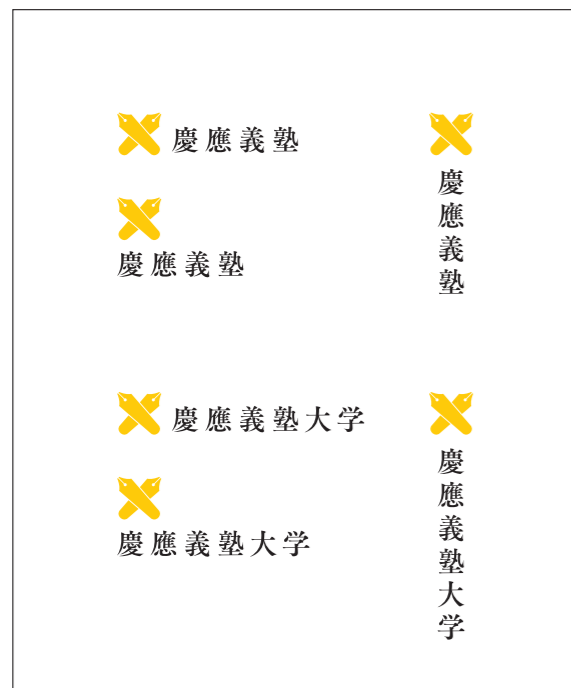
ペンマークとロゴタイプの組み合わせ一覧

2015年更新

さまざまな使用場面に对应できるように、ペンマークとロゴタイプの組み合わせパターンを用意しました。ウェブサイトや和英併記のツールなど、国際的に展開されるアイテムでは、欧文付帯パターン、和文・欧文併記パターンをご使用いただけます。

※ 提供する制作データの中には、下記のほかに、「慶應義塾大学病院」「Keio University Hospital」とペンマークの組み合わせパターンが含まれています。

ペンマーク+和文ロゴタイプ



ペンマーク+欧文ロゴタイプ



ペンマーク+和文ロゴタイプ欧文付帯



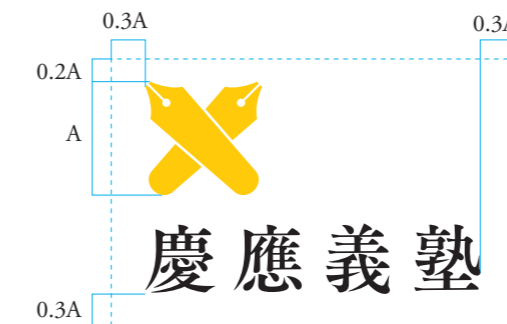
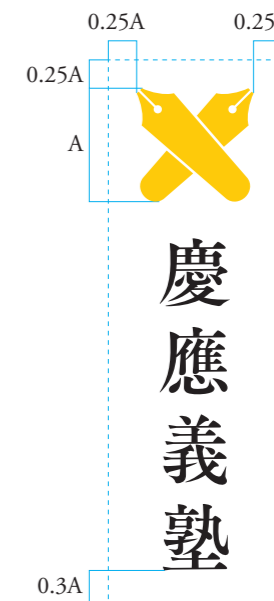
ペンマーク+和文・欧文ロゴタイプ併記



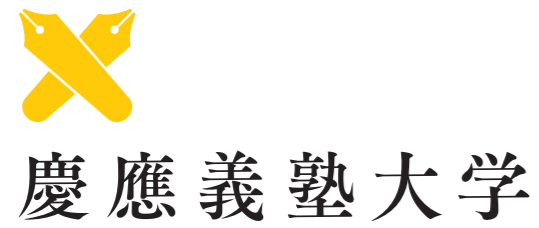
ペンマーク+和文ロゴタイプ



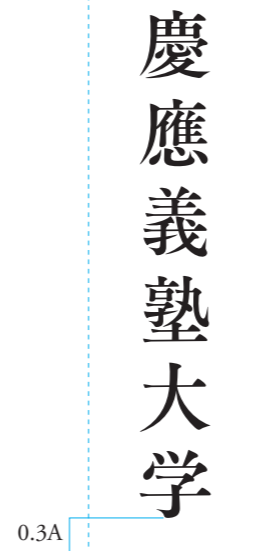
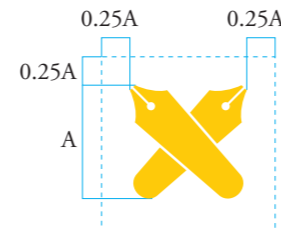
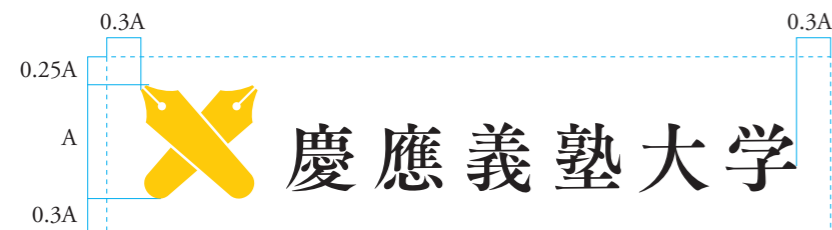
アイソレーション



ペンマーク+和文ロゴタイプ



アイソレーション



ペンマーク+欧文ロゴタイプ



アイソレーション



ペンマーク+和文ロゴタイプ欧文付帯



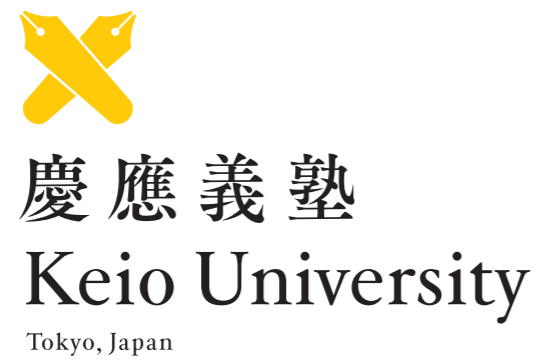
アイソレーション



アイソレーション



ペンマーク+和文・欧文ロゴタイプ併記



アイソレーション



アイソレーション



推奨書体

推奨書体は、シンボルやロゴタイプと親和性の高い書体です。名刺や封筒の住所表記やパンフレットの本文等に積極的にご使用ください。

和文推奨書体

A-OTF リュウミン Pr6Nファミリー

L-KL

あいうえおかきくけこさし
アイウエオカキクケコサシ
亜井卯絵尾家木区気子佐市
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmnopqrstu
1234567890

M-KL

あいうえおかきくけこさし
アイウエオカキクケコサシ
亜井卯絵尾家木区気子佐市
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmnopqrstu
1234567890

R-KL

あいうえおかきくけこさし
アイウエオカキクケコサシ
亜井卯絵尾家木区気子佐市
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmnopqrstu
1234567890

EB-KL

あいうえおかきくけこさし
アイウエオカキクケコサシ
亜井卯絵尾家木区気子佐市
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmnopqrstu
1234567890

欧文推奨書体

Adobe Garamond Pro ファミリー

Regular

ABCDEFGHIJKLMN
OPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstu
vwxyz /,.&@
1234567890

Italic

ABCDEFGHIJKLMN
OPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstu
vwxyz /,.&@
1234567890

Semibold

ABCDEFGHIJKLMN
OPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstu
vwxyz /,.&@
1234567890

Semibold Italic

ABCDEFGHIJKLMN
OPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstu
vwxyz /,.&@
1234567890

Bold

ABCDEFGHIJKLMN
OPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstu
vwxyz /,.&@
1234567890

Bold Italic

ABCDEFGHIJKLMN
OPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstu
vwxyz /,.&@
1234567890

学部等の付帯表記

2015年更新

ペンマークとロゴタイプの組み合わせに、学部等を付帯表記する場合の基本デザインシステムです。学部、研究所等を表記する場合は、以下のガイドラインをご参照ください。なお、学部の付帯表記については、下記基本デザインシステムに則った、全学部のデータを用意していますので、ご活用ください。

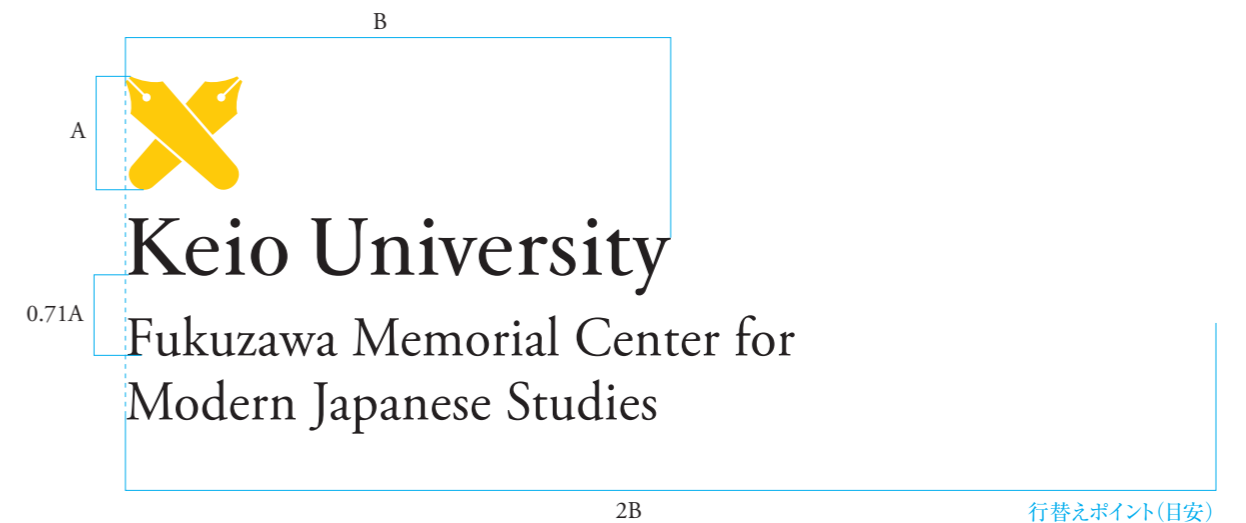
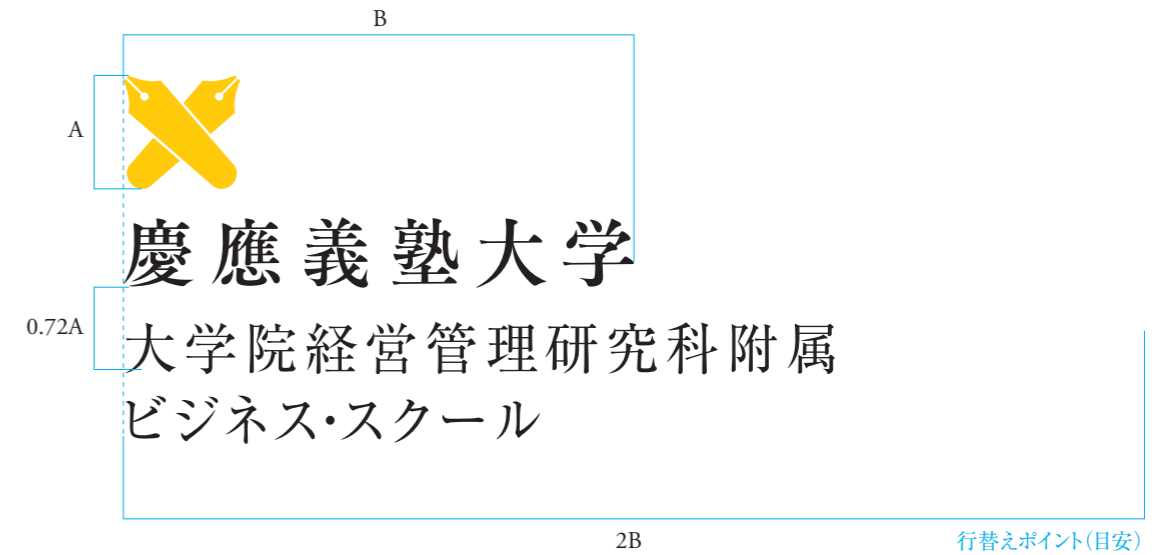
書体規定

A-OTF リュウミン Pr6N R-KL 35pt
水平比率96% トラッキング設定120
カーニング設定 自動 行送り45pt
※ペンマークの天地サイズを25mmとした場合の設定値です。



書体規定

Adobe Garamond Pro Regular 35pt
水平比率96% トラッキング設定10
カーニング設定 自動 行送り40pt
※ペンマークの天地サイズを25mmとした場合の設定値です。



好ましくない使用例

ペンマーク

色を変えたり、グラデーションを付けたりすることは避けてください。



囲いを付けた表現やカラーの矩形を付けて表示することは避けてください。



ペンマークを変形することは避けてください。



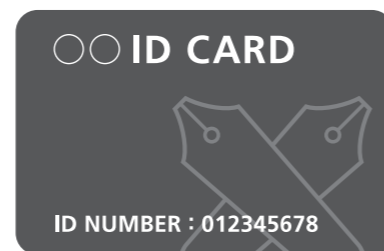
ペンマークが認識しにくい模様や写真をバックにして表示することは避けてください。（「ペンマークの背景色と表示色の関係」をご参照ください。→ p.14）



影を付けたり、他の要素をペンマークの一部として組み込んだりすることは避けてください。（ペンマークのアイソレーションをご参照ください。→ p.8）



ペンマークを背景に敷いたり、上に文字などを重ねたりすることは避けてください。



好ましくない使用例

エンブレム

色を変えたり、グラデーションを付けたりすることは避けてください。



書体やエンブレムを変形することは避けてください。



他の要素をエンブレムの一部として組み込んだりすることは避けてください。



囲いを付けることは避けてください。



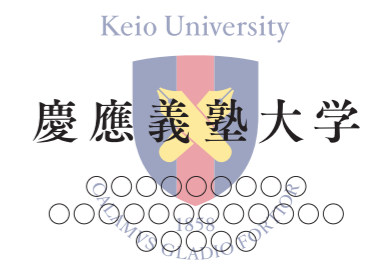
ロゴタイプを組み合わせて使用することは避けてください。



エンブレムが認識しにくい模様や写真をバックにして表示することは避けてください。（「エンブレムの背景色と表示色の関係」をご参照ください。→ p.15）



エンブレムを背景に敷いたり、上に文字などを重ねたりすることは避けてください。



好ましくない使用例

ロゴタイプ

縁取り表現での使用は避けてください。

慶應義塾大学

Keio University

影を付けた表現での使用は避けてください。

慶應義塾大学

Keio University

斜体やバースの付いた表現での使用は避けてください。

慶應義塾大学

Keio University

別のロゴタイプは作成しないでください。

慶應義塾大学

Keio University

慶應義塾大学

Keio University

慶應義塾大学

Keio University

好ましくない使用例

ペンマーク+ロゴタイプ

組み合わせや、大きさのバランスを変えるのは避けてください。

慶應義塾大学 
Keio University

 慶應義塾大学 Keio University

 Keio University
慶應義塾大学
Tokyo, Japan

 Keio University
慶應義塾大学

 Keio
University

 Keio University Tokyo, Japan

制作用データ

制作用データは、以下のグループごとに格納されています。全データ一覧は別添のPDFファイル「data list.pdf」をご参照ください。

| | |
|-------------------------|---|
| ベンマーク | A |
| エンブレム | B |
| 三色旗 | C |
| ロゴタイプ | D |
| ベンマーク+和文ロゴタイプ | E |
| ベンマーク+欧文ロゴタイプ | F |
| ベンマーク+和文ロゴタイプ欧文付帯 | G |
| ベンマーク+和文・欧文ロゴタイプ併記 | H |
| 学部の付帯表記 (和文 / 欧文) | I |
| 大学病院 ロゴタイプ | J |
| 大学病院 ベンマーク+和文ロゴタイプ | K |
| 大学病院 ベンマーク+欧文ロゴタイプ | L |
| 大学病院 ベンマーク+和文ロゴタイプ欧文付帯 | M |
| 大学病院 ベンマーク+和文・欧文ロゴタイプ併記 | N |